

英語

[解答]

1

- (1) (a) ア (b) ウ (c) イ
- (2) **tell her why you want to buy**
- (3) ウ
- (4) (例) 目的を持って生活し、その目的のために努力すること。
- (5) ① **Yes, there were.** ② **(He began to study English) At Sachiko's school.**
- (6) (i) **May[Can] I help** (ii) **What color(s)**
- (7) エ

[解説]

1

- (1) (a) 「それ(花屋を続けること)は私にとってそれほど簡単ではありません」 (b) 「それ(花が好きであること)はもっと大切です」 (c) 「それ(夢を持つこと)は簡単です」
- (2) 疑問詞で始まる疑問文が文の中に入ると、〈疑問詞+主語+動詞〉の語順になる。従って「なぜ花を買いたいのか」**Why do you want to buy flowers?**を**why you want to buy flowers**として**Please tell her ~**に続ける。
- (3) この直後の文、**I began to study about Japanese history and culture, too.**「私は日本の歴史と文化についても勉強し始めました」に注目する。「(英語をうまく話すことが)唯一の大事なことではない」というウが適切。
- (4) この直後の文が、具体的な内容を表している。〈It is ~ to ...〉で「…することは～だ」という意味。
- (5) ① 問いは「加藤さんが子どものころ、家には毎日きれいな花がありましたか」。第2段落の加藤さんの言葉の中に「母が毎日、部屋に花を飾った」と書かれている。
② 問いは「田中さんはどこで英語の勉強をし始めましたか」。第3段落の田中さんの言葉の中の第3文に「私はここ(幸子の学校)の生徒になったとき、初めて英語の勉強を始めた」とある。
- (6) (i) 加藤さんの花屋での最初の発言で、それに対して幸子が**Yes**と答えているので、「いらっしゃいませ」にあたる、**May[Can] I help you?**が適切。
(ii) 直後で幸子が「彼女は黄色と白が好きです」と答えているので、「何色が好きですか」とすると応答文が成立する。
- (7) ア 「今週、幸子の学校で社会人講師を招いたクラスがあったが幸子にはおもしろくなかった」第2段落第3文に「それ(加藤さんの話)にとっても興味があった」とあるので不一致。
イ 「加藤さんは他のどの店でも働かずに自分の花屋を始めました」第2段落の加藤さんの言葉の中の第5文に「数年、花屋で働いてから自分の店を開いた」とあるので不一致。
ウ 「田中さんはいいツアーガイドになったので、今は英語の勉強をする必要はない」第3段落の田中さんの言葉の中の第8文に「今も勉強している」とあり、それに続け「そうしないと、いいガイドにはなれない」とあるので、不一致。
エ 第4段落最後の文参照。

